

沖縄県石垣市北部地域の就労環境の改善に寄与

船越漁港浮棧橋

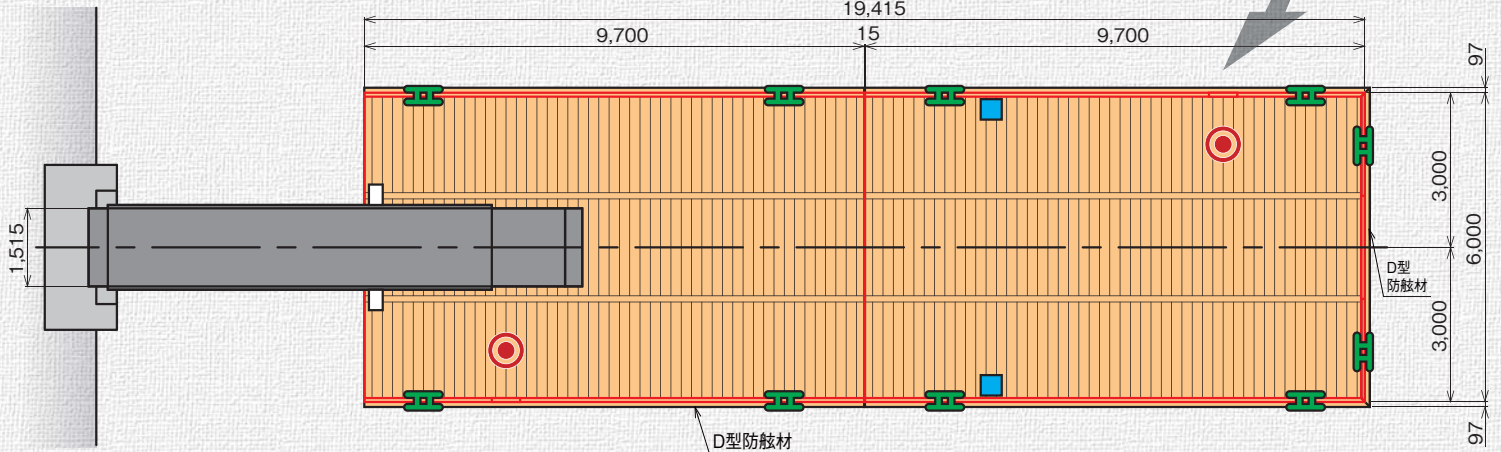
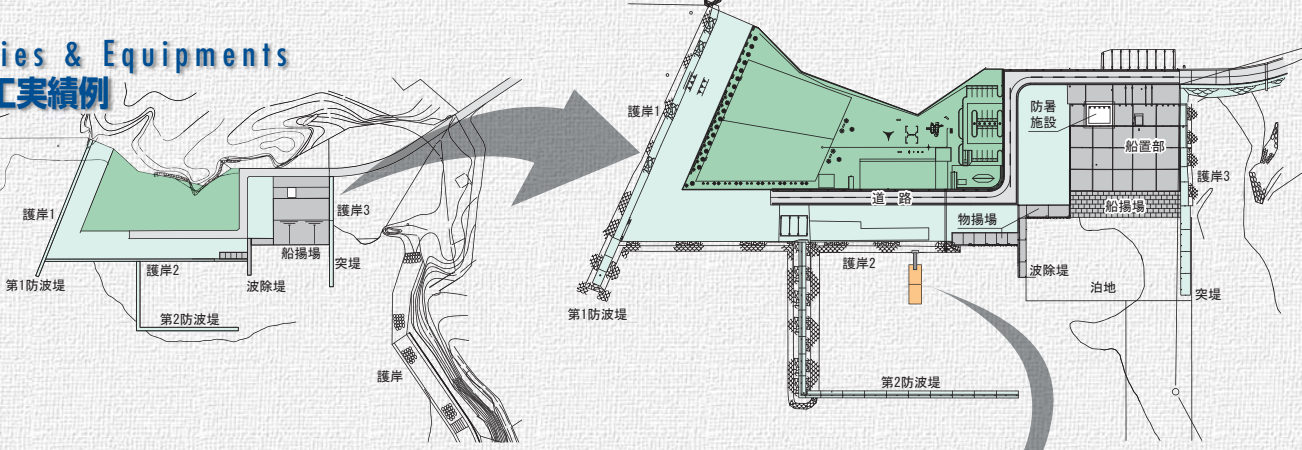


船越漁港は、沖縄県石垣市北部地域で好漁場を有し、昭和54年に漁港指定を受けた第1種漁港である。本施設は、潮の干満に左右されることなく漁船への乗り込みがスムーズにできる棧橋として整備されました。漁港内は、公園も整備され東屋、トイレや遊具等もあり、北部地域の憩いの場として利用されています。浮棧橋の整備により漁業者の就労環境改善にひと役買っています。

- 所在地 沖縄県石垣市船越漁港
- 用途 プレジャーボート用海上係留施設
- 保管隻数 棧橋：一時係留 4隻
- 浮棧橋係留 鋼管杭による係留
- 係留方法 浮棧橋係船
- 付帯設備 連絡橋・救命ラダー
- 供用開始 平成28年6月
- 事業者 沖縄県石垣市



-  連絡橋
-  ウッドフェンダー
-  φ400杭
内パイルガイド
-  救命ラダー
-  クリートL
-  連絡橋緩衝材



浮棧橋(ピアステージII)、人工木材デッキ仕様

アルミフレームの幅6mの浮棧橋です。メインフレームには、耐腐蝕性・リサイクル性に優れたアルミ合金、フロートにはポリエチレンを採用し、長期にわたる耐久性を確保します。棧橋デッキは、腐食と経年劣化が少ないリサイクル可能な人工木材を採用し、メンテナンス費の軽減を図っています。人工木材は天然木材(ハードウッド)に比べ、濡れた時の摩擦係数が大きくすべりにくい素材です。なお、樹脂素材により発生しやすい静電気の除去ライナーを設けています。

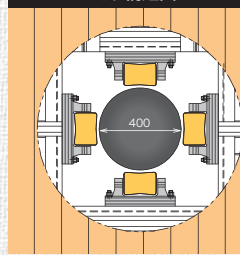
静電気除去ライナー



工事の様子



ローラーガイド構造図



内杭式パイルガイド

指などの挟み込みを防ぐために、ローラーは棧橋内部に収納しています。棧橋の内側に杭を配置することにより、棧橋側面を最大限に活用できます。ゴム製ローラーの接地面積を大きくした鼓(つづみ)型とし、杭の防食材を傷めることを軽減します。

連絡橋

アルミ製で腐食に強い連絡橋です。スムーズに潮位の変化に追従できるように、ローラーや緩衝材を装備しています。



収納式救命ラダー

落水事故は浮棧橋のリスクのひとつです。一般的に水面から高さ約50cmの浮棧橋へ上がることは困難であり、落水事故は大きな事故になる可能性があるためリニューアルされた棧橋には、左右2ヶ所に収納式救命ラダーが設置されています。



D型防舷材

係留艇の浮棧橋への衝突を和らげる白いゴム製の大型D型防舷材を設置しています。

